



Bond（債券）の語源は？ | 金融・経済の英単語



「債券」をあらわす

bond（ボンド）という言葉はゲルマン語由来で、bind（バインド）と同じ語源ファミリーです。「バインダー」は「製本」のことですから、もともとは「束ねて縛る」のが bind です。「拘束」のイメージから「取り決め」の意味ができました。

この古形は bindan（縛る）の母音交替による派生で、band（バンド。元の意味は「括るもの」「枷」）が生まれました。「包帯」の bandage もこの仲間ですし、登録商標の BAND-AID（バンドエイド）もここから派生しました。

バンドというと「楽団」の band が思い浮かぶ人も多いでしょう。これは古英語の bonda（農民）と bind（結んだもの）がもつれてできた語です。「一隊」「一団」「群れ」の意味から「楽隊」の意味にもなったのですね。

ちょっと寄り道しますが、前者の bonda という言葉は北欧起源で、現代デンマーク語で「住む」という動詞を bo といいます。husband（ハズバンド、夫）は、古英語の husbonda で hus（家）+ bua（住まう）+ and（現在分詞語尾）-家に住まって治める人→主人、となったのです。

neighbor（ネイバー、隣人）という言葉も、neabgebur = neah（近い）+ gebur 近くに住む百姓→近くの人、となったのです。ちなみに neah は一昔前までは nigh といい、この比較級、最上級がそれぞれ英語の near、next です。

「百姓」のことをドイツ語では Bauer（バウアー。よく姓名にあります）、オランダ語では boer 「ブール」と読むのですが、英語読みされて、西洋史の教科書に「ブーア戦争」（南アフリカの英蘭戦争、覚えていますか？）として出てきます。

さて、話を戻して bond（債券）ですが、この単語も上の band の異形で、元は「つなぐもの」「紐」「縄」の意味です。そこから「契約」「同盟」、そして「保証」「証文」、そして「債券」の意味に発展していったのです。

ちなみに接着剤の「ボンド」もこの単語です。というわけで「縛る」イメージから「奴隷」「束縛」の意味の bondage が出ます。SMのボンテージもこの単語です。

それから「保税倉庫」は bonded warehouse といいます。ロンドンの Bond Street は何か関係があるのかと思って調べてみたところ、17世紀にこの地区を開発した人物であるトーマス・ボンド氏（Sir Thomas Bond）という方の名前に由来するものでした。

学生運動の華やかなりし頃を覚えていらっしゃる方は「ブント」というセクトをご存知かと思いますが、あれは多分ドイツ語の Bund（同志の集まり、同盟）で、やはり同じ語源を持つファミリーです。

昔の西ドイツ、連邦共和国のことを Bundesrepublik
といい、ドイツ語では「連邦～」というと、みんな
Bundesです。最近では、サッカーの「ブンデスリーガ」Bundesliga
がすっかりお馴染みになりました。

ところで bind の過去形は何でしたっけ？ 活用形は「bind -bound
-bound」でしたね。通勤中にどこかで聞いたことがありませんか。新幹線に乗る。「This train is
bound for Osaka」の bound です。

「～に結び付けられた」ということから「～行きの」という意味になったのかと思う人がいるかもしれませんが、これはどうやら北欧語起源のようで、「境界」をあらわすフランス語の bound
が語源のようです。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A Online編集部